



令和 8 年 3 月 24 日

報道関係各位

国立大学法人弘前大学

『白神山地の蛾 250』の出版について

【本件のポイント】

- ・白神自然環境研究センターで出版しているブックレットシリーズ最新刊。
- ・2018年から続けている白神山地の蛾類調査の成果。
- ・毎回、250種ずつ白神山地に生息する蛾を紹介しており、今回、同タイトルで5冊目の刊行。これまでの累計で1,250種の蛾類を紹介したことになる。

【本件の概要】

蛾類は基本的に幼虫が植物を食べて育つことから、その多様性は植物の多様性も反映している。また、飛翔能力が高く、地球温暖化などの環境変動に敏感に反応して分布を広げることが知られている。ある地域の蛾類相を明らかにすることは、その地域の生物多様性とその変化を理解することにつながる。

農学生命科学部白神自然環境研究センターでは、2018年から学生や地域の昆虫愛好家らの協力を得ながら、白神山地の蛾類調査を行ってきた。これまで当該地域から蛾類が250種確認されるごとにブックレットを作成してその成果を紹介してきたが、この度、このシリーズの5冊目を出版することができた（2026年3月10日発行）。この出版によって、紹介する蛾類は累計1,250種となった。白神山地のみならず、北東北の昆虫の種多様性について知る上で重要な資料である。

このブックレットは希望者には無料で配布される。

問い合わせ先：白神自然環境研究センター 中村剛之 ([dhalma@hirosaki-u.ac.jp](mailto:dhalma@hirosaki-u.ac.jp))



ブックレット『白神山地の蛾 250 (5)』



HIROSAKI  
UNIVERSITY

プレス発表資料  
PRESS RELEASE

【情報解禁日時】 なし

【取材に関するお問い合わせ先】

（ 所 属 ）	農学生命科学部
（役職・氏名）	教授 中村剛之（白神自然環境研究センター）
（電話・FAX）	0172-39-3707
（ E - m a i l ）	dhalma@hirosaki-u.ac.jp